

子ども部会の報告

(平成 27 年 7 月～平成 27 年 9 月)

1 開催日 (毎月第 3 木曜日 9:30～)

第 3 回	7 月 16 日	資源調査の進捗状況について フィードバック会及び情報交換会の実施について検討 先進地域への視察について
第 4 回	8 月 20 日	先進地域への視察について確認 資源調査の結果と今後の方向性について検討 フィードバック会及び情報交換会の日時等について
第 5 回	9 月 17 日	先進地域への視察の振り返り 資源調査の結果・分析について検討 障がい児通所支援事業所等への資源調査結果報告会の確認 今後の部会の方向性について検討

2 検討内容

(1) 資源調査について ※別紙参照

春日井市内の障がい児支援を行う事業所の実態把握及び事業を行う上で抱えている悩み事等を把握するために資源調査を実施しました。資源調査の結果から大きく 2 つ、①ライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築、②人材育成やスキルアップ及び事業所同士のネットワークの構築のための研修会の実施ということがわかりました。

(2) 先進地域への視察について

日進市の地域自立支援協議会における子ども部会と児童発達支援センターの取り組みについて、9 月 3 日に視察に行ってきました。子ども部会は、市内の障がい児やその家族にかかわる課題について、関係機関の担当者が集まり、課題解決に向け検討していました。内容としては、事業所間研修の実施や特別支援コーディネーターの研修に参加し、学校との連携を深めるような取り組みを行っているそうです。今後は、保護者や家族を含めた療育支援システムの構築が課題だと教えていただきました。

児童発達支援センターは、ライフステージを見通した切れ目のない支援を目指し、①子どもへの療育的支援、②家族支援、③地域への専門性の還元 (アウトリーチ)、④人材育成の機能 (支援力の向上)、⑤関係機関との支援ネットワークの構築の 5 つ機能がありました。

3 今後の取り組み

資源調査の結果を分析し、①ライフステージに応じた切れ目のない支援体制作りと、②人材育成やスキルアップ及び事業所同士のネットワークの構築のための研修会の実施、大きく 2 つの柱で、取り組んで行く予定にしています。

- ① ライフステージに応じた切れ目のない支援体制作りについては、先進地域の取り組みを参考にし、春日井市としてできることを検討する。
- ② 人材育成やスキルアップ及び事業所同士のネットワークの構築については、研修会を実施する予定です。内容や実施回数、どのような方法で行っていくかを検討する。